

国際栄養分野の国家戦略の策定と 1000億円の資金拠出をお願い致します

栄養分野は日本のリーダーシップを発揮する機会です！

日本は栄養分野の国家戦略と資金拠出が求められています



栄養分野を包括する国家戦略が必要

平和と健康の
ための基本方針

TICAD/
ナイロビ実施計画

健康・
医療戦略

食と栄養のアフ
リカ・イニシア
ティブ(IFNA)

栄養改善事業推進
プラットフォーム

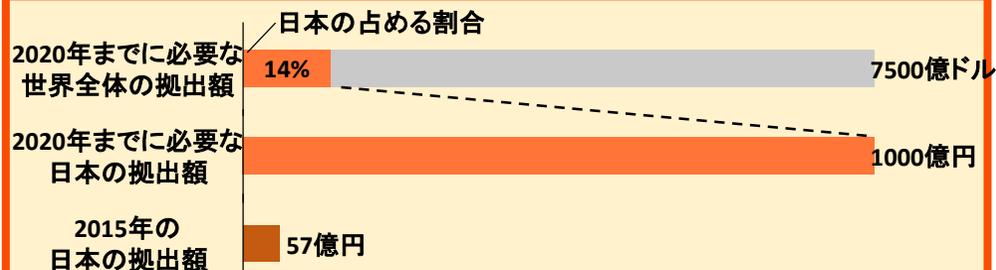
食糧安全保障と
栄養に関する
G7行動ビジョン



2016年11月、国際母子栄養改善議員連盟にて、逢沢議員より柴山首相補佐官へ国家戦略案が手渡されました

包括する栄養分野の
国家戦略が無い

2020年までに求められる資金拠出額¹



オリンピックまでに1000億円の拠出が必要

世界の栄養状況は未だ深刻。栄養は投資対効果が高い分野です

世界の5歳未満児の死亡要因²

世界の5歳未満児死亡数: 590万人



死亡要因の約半数が栄養不良に起因

世界の5歳未満児の発育障害³



4人に1人の1億4,700万人以上が発育障害

栄養改善の投資対効果⁴



1ドルの投資に対し16ドルの経済効果

注: 1)Results for Development/World Bank,2)UNICEF,3)WHO,4)世界栄養報告2016

提言団体: 日本リザルツ、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、ワールド・ビジョン・ジャパン、栄養不良対策行動ネットワーク(2016年12月27日)
連絡先: セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、田中 (phone: 03-6859-0015, email: advocacy@savechildren.or.jp)